

# 情報公開用文書（附属病院/横浜市立大学医学部で実施する医学系研究）

(単施設研究用)

西暦 2025 年 11 月 20 日作成 第 1.0 版

<b>研究課題名</b>	健常成人における年齢帯・性差による AMPA 受容体密度の差異を既存の試験データから検出す る研究
<b>研究の対象</b>	<p>過去に当院で実施された下記の研究に参加された方のうち、研究で収集した情報の二次利用に同意いただいている方を対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 健常人を対象とした放射性リガンド [<sup>11</sup>C]K-2 の有効性および安全性を検討する臨床試験 (F230601001)</li> <li>● 疾患横断的診断法の開発における放射性リガンド [<sup>11</sup>C]K-2 の有効性をうつ病、双極性障害、統合失調症、依存症、ASD/てんかん症例と健常人で比較検討するパイロット試験 (jRCTs031180052)</li> <li>● 健常者における加齢および性別に伴う AMPA 受容体密度変化の検討： [<sup>11</sup>C]K-2 を用いた横断 PET 研究 (jRCTs031200083)</li> <li>● 高齢てんかん患者と早期アルツハイマー型認知症患者の AMPA 受容体発現密度およびアミロイド β 蓄積量を PET イメージング法で測定し非てんかん・非認知症高齢対照者と比較するための探索的試験 (jRCTs031210312)</li> </ul>
<b>研究の目的</b>	<p>AMPA(アンパ)受容体は記憶や学習において重要な役割を担う脳内の分子ですが、歳を取るに従いどのようにその数が変化するか、性差があるかについては詳しく分かっていませんでした。今回の研究では、脳内の AMPA 受容体の分布を可視化する [<sup>11</sup>C]K-2 PET の画像を用いて、今までに取得したさまざまな年齢・性別の方の AMPA 受容体の分布を比較します。</p> <p>また、記憶力や判断力、注意力といった認知機能と AMPA 受容体がどのように関わるのかについても調べます。</p>
<b>研究の方法</b>	<p>上記の研究に「健常者群」として参加された方から得られた [<sup>11</sup>C]K-2 PET 画像を解析に使用します。</p> <p>画像と年齢や認知機能の関係を調べる、画像を男女で比較するといった解析を行います。</p> <p>過去の研究で得られたデータを使用するため、新たに対象の方のご負担になることはありません。</p>
<b>研究期間</b>	西暦 2025 年 12 月 25 日（研究機関の長の許可日）～西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2025 年 12 月 25 日（研究機関の長の許可日）
<b>研究に用いる 試料・情報 の項目</b>	<p>【情報】診療録から以下の情報を収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 背景情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴</li> <li>● AMPA 受容体密度：SUVR ([<sup>11</sup>C]K-2 PET 検査で得られた画像値)</li> <li>● 臨床評価スコア：認知機能検査 (RBANS、LNS、SNST、TMT、MMSE)</li> <li>● 画像検査：[<sup>11</sup>C]K-2 (投与量含む)、MRI (T1 画像、MRS、DTI、rs-fMRI)</li> </ul>

# 情報公開用文書（附属病院/横浜市立大学医学部で実施する医学系研究）

(単施設研究用)

<b>試料・情報の授受</b>	本研究では、機械学習を用いた画像データの解析のために、収集したデータを解析期間の「自然科学研究機構 生理学研究所 神経ダイナミクス研究部門」へ送付します。 個人が特定できないよう加工した上で通信によってデータの授受を行います。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
<b>個人情報の管理</b>	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
<b>試料・情報の管理について 責任を有する者</b>	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。  研究責任者：横浜市立大学医学部 生理学教室 横浜市立大学附属病院 リハビリテーション科 阿部 弘基
<b>利益相反</b>	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は、研究資金を要しない研究です。本研究では製薬会社、医療機器会社と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。
<b>研究組織 (利用する者の範囲)</b>	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学医学部 生理学教室/横浜市立大学附属病院 リハビリテーション科 (研究責任者) 阿部 弘基
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができるので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除外ない場合があります。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 公立大学法人横浜市立大学 大学院医学研究科生理学 (研究責任者) 阿部 弘基 (問い合わせ担当者) 藤本 優 電話番号：045-787-2800 (代表) FAX：045-787-2578</p>	